

富士宮西ロータリークラブ 会報

Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリークラブ第2620地区 2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ
会長 今村 一徳 幹事 矢部 英樹



例会場より

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週 夜間
事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 ゲストハウス フォレストヒルズ内
TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

NO. 29 通算 1481 号 2022 年 4 月 8 日 (金)

ゲストビジターの紹介

ゲスト・ビジターはなし

会長挨拶



会長 今村 一徳 君

本日はいよいよ次年度の運営方針発表となります。次年度こそは通常のロータリー活動ができることを願います。

本日は私の仕事の話をさせていただきます。私の仕事のめがね業界は、人口の約 3 割のユーザーの方へのサービス

を行なっています。少ないように感じますが、全人口で計算すると約 3 割程度です。

本日会員の皆様も老眼鏡を除き、日常メガネをかけている方を見るとおおよそ 2 割弱と思います。そこに老眼市場が重なり、全人口の約 3 割程度になります。

現在のメガネ国内販売金額は約 3 千億 5 百万円程度です。この売上額はなんとマクドナルド一社の売上とあまり変わりません。しかし、20 年程前、日本のメガネ市場は 8 ～ 9 千億円と言われ、このまま成長すれば 1 兆円産業まじかと言われていました。

しかし、大手量販店がシェア争いの爲に、過激な価格競争を行ったため、なんと現在では国内最高販売時の約半分以下になってしまいました。

たとえ話ですが、富士宮市内にマクドナルドは 3 店舗ありますが、メガネ専門店はなんと 7 店舗もあります。売上規模は縮小していますが、販売件数が微増で伸びています。しかし、メガネの平均単価は 20 年前より半値以下にさがり、件数は伸びるが単価がそれ以上に低いため総額の売り上げが伸びないため、大手量販店ではランニングコスト削減のために、人件費削減や機械化を導入し効率経営に重点を置いています。

その為、キャリアが求められる専門性や商品技術、知識は切り捨て、人的知識を求められるメガネの作成は受け入れられない体制になってきています。

メガネ業界本来の「半医半商」の教え、医療と商売をバランス良く行う事とされていましたが、残念なことに大手量販店は商売に徹してしまいました。

しかし、悪いことばかりではなく、経済の方程式では業界規模が小さくなったことは、中小零細企業にとっては良いことで、5 千億以下の小さな業界では大手企業のスケールメリットが出にくいため、大手が成長しない業界といわれています。

いずれ大手企業は大都市圏のみの展開で 1 社から 2 社程度に整理され、中小零細企業の業界になっていくと言われていています。その日が来るまで、明るい未来に希望を託し、日夜頑張っまいますので、会員皆様のご利用も心よりお待ちしております。

幹事報告

幹事 矢部 英樹君

別紙幹事報告参照ください。

出席報告

欠席者 ☆細野芳男☆外木規之 渡辺弘光 渡邊奈津美
仲亀秀樹 竹田浩富 若林眞治 遠藤克彦
☆は、出席免除者

	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	24	18	6	0	75.0%

スマイルボックス

- 本日は次年度計画の発表をします。皆様よろしく
願います 矢部 英樹君
- 春かすみ おさきまっくら 輸入材 片岡 博昌君
- 富士宮プロレスのウクライナ支援ライブは
4月10日です。よろしく願います。石川 俊洋君

お祝い・記念日

入会記念日 当クラブR I加盟認証日4月10日時31名中
の現在籍会員9名の皆様です。紹介します。
赤池次郎君、片岡博昌君、後藤憲治君、
斉藤邦男君、外木規之君、貫名英舜君、
細野芳男君、堀水登志夫君 山口裕嗣君

結婚記念日 若林眞治君 昭和49年4月13日
今村一徳君 昭和60年4月14日

本日のプログラム

◇2022-2023年度 クラブ運営方針



2022-2023年度において、
クラブの運営方針として果た
しがいのある責任を各会員に
経験して戴きたいと思えます。
そのために各会員がロータ
リー活動の中でどのような経
験を求めているのか伺い、各会員の皆様から伺った意見を
出来る限りクラブの活動に反映させていきたいと思えます。

2022-2023年度のR I会長ジェニファー・ジョーンズ氏の
テーマ講演の中で、世界中のクラブが会員維持の問題に苦勞
していると述べられておりました。

そのために「ロータリーでの参加型の奉仕」「人間的成長」
「リーダーシップ開発」「生涯にわたる友情」、これらが目
的意識と熱意を生み出す要因であり、このことが私たちロー
リアンの責任だと。会員に奉仕できなければ、地域への奉仕
も出来ません。会員にとって心地よい場所として、会員への

気配りが無ければ、ロータリーとしての力を本当に理解して
もらうことは難しいと思える。この様に述べられておりました。
このことから、私たちにとって最も大切なのは心地良さと、
配慮を今迄以上にクラブ内に浸透させたいと思えます。

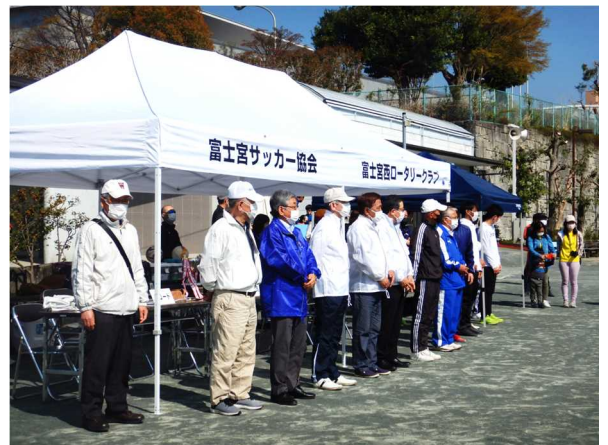
2022-2023年度のテーマは「イマジン ロータリー」です。
イマジンとは想像という意味合いがあります。世界を変え
る力が有るロータリーを想像してくださいとR I会長は述
べておりますが、私たちローカルクラブは先ずは、クラブ内の
会員が手を取り合って、和気あいあいと地域で元気に活動し
ているクラブを想像し、次年度は確実な1歩を踏み出せるよ
うに、皆様のお力と、お知恵をお貸しくださることをお願い
申し上げます。大きな夢を描くことも大切ですが、先ずは小
さな夢から積み重ねて、会員の皆様で大きな夢にしましょう。

◇第19回富士宮西ロータリークラブカップ

少年サッカー大会

4/9開会式 及び 1日目試合 (開会式は6月)

快晴の富士宮市営サッカー場に大勢のサッカー少年、父兄
協会関係者、当クラブ会員) が出席した開会式の直後から
試合が始まりました。サッカーを通じて青少年の健全な肉
体と精神が育まれたことを2620地区本部に報告し、当ク
ラブの看板奉仕事業として継続していきましょう。



◇4/10「ウクライナ・チャリティ募金協力事業」

本件4/8例会時に、皆様に石川俊洋副幹事から案内があり
ました。また4/12の岳南朝日新聞4面に「平和願いミニラ
イブ・妙心寺境内で、富士宮プロレス矢口さんが歌とギタ
ー演奏」と題し掲載されていました。

当日は会場入り口で「ウクライナ・チャリティー募金」後
に石川会員と貫名会員にご対面。レスラー兼パークリー音大
卒のミュージシャン優しい歌声とギターの音色を楽しませて
いただきました。富士宮プロレスの皆様、石川代表ありがと
うございます。本活動はロータリアンの自主的な奉仕活動の
好事例として本クラブ会報にて報告させていただきます。